

兵庫県下の企業と連携したキャリア教育

～「兵庫で働く」を目指して～

国際商経学部

○教授 やまぐち たかひで
山口 隆英

キーワード

県内就職率、キャリア教育、COC プラス、
兵庫県中小企業家同友会、学生と経営者の出会い



研究概要

このプロジェクトの最終的な目標は、兵庫県立大学の卒業生が**県内企業（兵庫県内に本社を置く企業）への就職比率を、30%台から引き上げる**ことである。このプロジェクトは、文部科学省が提唱した「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」の後継の事業として、2025 年にスタートした「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」を継続して進めていくために、大学本部と国際商経学部が継続して取り組んでいるプロジェクトである。兵庫県立大学の 2023 年の兵庫県内への就職率は、**32.8%**である。この兵庫県立大学の県内就職率が 30%であることは長ら続く傾向であり、2016 年が 39.3%、2017 年が 36.2%であり、COC+事業(2020 年 3 月終了)の実施後も、**兵庫県立大生の兵庫県内への就職率は増加しているとはいえない現状である**。この状況に対して、兵庫県庁からも「**卒業生の県内就職率を向上させ、県内企業に人材供給が途絶えることがないようにして欲しい**」という要望があり、次の 2 つのことを同時に実現するための事業として進めている；

- ①兵庫県庁、大学本部、国際商経学部が共同して、県内企業の人材確保を支援する取り組み
- ②学生のキャリア選択の幅を広げ、自主的なキャリア形成ができることを支援する取り組み

この事業は、上記 2 つの目標を同時に実現することを目指しているが、本学の卒業生が、この事業で行っている授業の結果、すぐに①の県内企業への就職が実現するとは考えていない。まずは、②の自主的なキャリア形成に主眼をおいた長期プロジェクトとして、事業を実施している。この事業で実施するキャリア教育のため授業においては、**兵庫県中小企業家同友会**と本学の連携協定に基づいて、中小企業家同友会からの**講師派遣**を受けている。

アピールポイント

共通教育科目「現代の経営問題」で実施している事業の考え方（共通教育科目での実施を図ることで、国際商経学部の学生だけでなく、全学の学生が受講可能となっている。2024 年は、オンラインで姫路工学キャンパスでも学生が受講）

